

一般質問発言通告書

議席番号 3 番

氏名 大谷 学

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 新型コロナウイルス感染症対応における現時点での総括と教訓について

(1) 5類感染症へ移行後の感染状況について

- ① 令和5年5月8日より5類感染症へ移行し、さらに令和6年4月から通常医療の対策へ全国的に移行している。最近の浜田市の感染状況について伺う。
- ② 医療対応はどのようになっているか、現状を伺う。

(2) 5類移行までの感染状況について

- ① 厚生労働省によると令和5年5月8日8時現在の国内感染者数は33,802,739人、死亡者数は74,669人と発表されている。この数の中の浜田市における人数について伺う。
- ② その人数は他市と比較し、市としてどのように認識しているかを伺う。
- ③ 令和5年10月27日に開催された第98回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会においてファイザー製ワクチン接種後の死亡者数が令和3年2月から令和5年7月までの約2年半の間に1878人と報告されている。この数の中における浜田市の該当者の人数について伺う。
- ④ その人数に対しての市の認識を伺う。

(3) 5類移行までの対応について

- ① 予防接種の対応に対する評価（反省すべき点を含む）についての認識を伺う。
- ② 幼稚園や小中学校における対応に対する評価（反省すべき点を含む）についての認識を伺う。
- ③ 公共施設の利用などの市民活動における対応に対する評価（反省すべき点を含む）についての認識を伺う。
- ④ 差別や中傷等の人権に関する対応に対する評価（反省すべき点を含む）についての認識を伺う。

(4) 次なる感染症への備えについて

- ① コロナ後遺症（ワクチン後遺症）で苦しむ人々への支援等はどのように考えているか、その認識を伺う。
- ② 鳥取県は「新型コロナウイルス感染症対策検証報告書」を令和6年3月に作成し、ホームページ上に公開している。鳥取県のようにこの歴史的な経験を記録として後世の人々に役立ててもらえるように検証報告書にまとめておく必要があると思うが、認識を伺う。
- ③ 新たな条例の制定および医療機関や各種関係機関との連携強化に向けて協定締結等の必要性はないか、認識を伺う。